



弁護士深草徹の「ここがポイント」

『蛍の光』



深草 徹

蛍の光 窓の雪 書 (ふみ) よむ月日 重ねつつ
いつしか年も すぎの戸を あけてぞ今朝は 別れゆく

唱歌『蛍の光』の一番の歌詞です。この歌がつけられたのは明治14年。同年11月に発行された文部省教科書『小学校唱歌集初編』では、四番の歌詞は次のようになっていました。

千島の奥も 沖縄も 八洲のうちの 守りなり
至らんくくに いさおしく つとめよわがせ つつがなく

その後、この前段部分は、次のように変遷しています。

千島の奥も台湾も 八洲のうちの守りなり
台湾のはても樺太も 八洲のうちの守りなり

明治以来、普通教育は、国家統制の下で、戦争と産業のよき戦士を作り出すことが重要な目的とされてきました。歌詞の変遷はそのこと示す一例ですし、教言勅語は、その要でした。

戦後、日本国憲法の下で、普通教育の目的は、民主政治の担い手である国民を作り出すことに変わり、国家統制を廃することとなりました。

しかし、政府・自民党は、戦前へと回帰させようとし、右翼団体などとともに学校現場への介入を強めています。憲法9条を守るために、このような動きにも警戒を怠ってはなりません。

(九条の会.ひがしなだ共同代表、深草憲法問題研究室主宰)

11月3日に護憲の意見広告を

総がかり実行委員会が呼びかけ 全県あげての取り組みで成功へ



「憲法を活かす1万人意見広告運動・兵庫」の取り組みが、始まっています。呼びかけは、「戦争させない、9条壊すな！総がかり行動兵庫県実行委員会。憲法施行71年目となる今秋11月3日付け神戸新聞に、アベ壊憲に抗して、「憲法を守り、活かそう！」をメインスローガンとする意見広告を掲載しようという、全県挙げての護憲運動です。

1口1,000円の賛同金（団体は3口以上）で、希望者の名前（団体名）を、各行政区・自治体ごとに掲載します。第1次集約は8月31日、最終集約は9月30日の予定。賛同金の振り込み先は、郵便振替口座番号：00950-1-275562で、口座の名称は、総がかり行動兵庫県実行委員会。チラシに印刷してある振り込み用紙の活用が呼びかけられています。

また、何人かの分を取りまとめて提出する方式が、お勧めとなっており、事務局連絡先は、九条の心ネットワーク（☎078-361-9990 中神戸法律事務所）。

「原水爆禁止世界大会」に参加 感激の「核禁条約」を活かそう

兵頭憲一

8月7日から9日まで、「原水爆禁止世界大会」に参加して、長崎まで行ってきました。

7月7日に成立した核禁止条約に、みんなが喜び、そして条約を「今後どう活かすか」と、熱気のある議論が繰り広げられました。「世界大会」の名にふさわしく、世界中から平和運動に携わる人が集まっています。7日には中満泉（なかもつ・いずみ）・国連軍縮上級代表（事務次長）が挨拶。9日には、条約をとりまとめたエレン・ホワイト議長からのメッセージが読み上げられ、いずれも「条約は、被爆者をはじめとした皆さんの運動が実を結んだもの。条約はゴールではなく、これからも皆さんと手を合わせて、核廃絶に取り組んでいきたい」と述べています。被爆者の証言を、真剣に聞く中満さんの姿が、印象的でした。他にもオーストリア、ベネズエラなどの政府高官がスピーチ。市民と政府、国際機関の連帯を感じました。



ナガサキデー集会では、アメリカと韓国からの代表が並んで登壇。「トランプの軍事支配的な姿勢に、平和主義で対抗しよう」と呼びかけました。（写真はスピーチするアメリカのジョセフ・ガーソン氏と米・韓国からの代表）

（九条の会・ひがしなだ世話人）

住吉山手から

虻（あぶ）

公庄れい

田舎の夏は、虻が多い。

23年前の夏、たまたま来日中の韓国の被爆者、イルスさんとブンスンさんを、うだるような大阪から、涼しい紀州の山村へと招いた。イルスさんの腕にとまった虻を、私は叩いて、片羽根をちぎって捨てた。飛べなくなった虻は、地面で独楽（こま）のように、クルクルと回っている。子供の時から、虻を捕まえると、こうしてきた私にとっては、日常の些細な行為のひとつである。

瞬間、イルスさんとブンスンさんは、悲鳴のように叫んだ。

殺してやって！

焼かれ、手をもがれ、足をもがれ、水を、水を、と叫びながら、死んでいった大勢の人達の無残な様子が、彼女たちの心から消えることは、未来永劫ないであろう。

今は天国にいるブンスンさん、少しは楽になりましたか。

（孫たちの将来を案じるおばあちゃんの会）

「劇」から平和を伝えたい

田中勇輝

「私達は第二次世界大戦の単純な加害者ではない。原爆と民間人の空襲虐殺などを経験した被害者でもある。私達は加害者であり被害者でもある特殊な経験をした。そんな私達の特殊性を、他の国と同化することで失っていいのだろうか？その私達のオリジナリティを、失っていいのだろうか？スイスが永世中立国なら、日本は平和追求国家になるべきだ。」（集英社『教団X』中村文則著）

上記は『教団X』という宗教団体をテーマにした小説の中の一節であるが、この一節に出会って以来、講演などの際にはよく使わせて頂いている。恥ずかしい話、新書はめったに読まないが、小説は常に何かしら読んでいます。私が、戦争や平和といったテーマを学んできたのも、多くは小説や映画からだ。

私は、あすわか兵庫劇団の脇役として、よく舞台に立たせて頂いているが、劇には本当に多くの意味があると感じている。硬い講義で聞く以上に、笑いや感動のある物語から伝わるメッセージもあるはず。若い世代にはなおさら。そう信じ、そして日本が平和追求国家になるべきと願い、今日も声を張り上げたいと思う。

（明日の自由を守る若手弁護士の会、法律事務所絆）

沖縄レポート

辺野古新基地建設は許さない 次の大規模行動は 10月25日

高橋秀典

7月25日、沖縄の大浦湾をカヌーと船でうめつくそう！辺野古新基地建設を許さない7.25海上座り込みに参加しました。

通常は10艇程度のカヌーで行っている抗議行動が、この日は88人が71艇に乗り込み、9隻の抗議船と合わせると約150人もの方が参加。その結果、この日の工事は中止。政府は、今年4月25日から知事の許可なく埋め立て工事を強行していますが、実際には埋め立て資材を運ぶための道路の護岸工事をしている段階です。知事が6月に行った差し止め訴訟の証拠を握られるのを、政府は嫌っているからです。

一方で、反対運動の鎮静化を狙って「工事は進んでいる」というキャンペーンを張っています。陸上ではキャンプシュワブ前で、水曜と土曜は100名以上の市民が参加して、工事資材の搬入を阻止していますが、海上でも多くの市民が参加すれば工事を遅らせることは可能です。

次の大規模海上行動は10月25日。抗議船には誰でも乗れます。ご一緒に、工事を止める一人になりませんか！！

（こわすな憲法！いのちとくらし！市民デモHYOGO世話人）



平和願う「朗読と合唱の集い」 住吉中学放送部を中心に

合田和義



甲南学園平生記念館（神戸市東灘区住吉本町2）で8月5日、地元の住吉中学生らを中心に、平和を願う「朗読と合唱の集い」が行われました。ヒロシマを語り継ぐ会（浅海和子代表）が主催し、中学生らの平和を願う作文や詩を、住吉中学放送部が朗読する企画で、今年で3回目。印象深かったのは、文集「花時計」に掲載された作文や詩、短歌などから戦争や原爆に関するものを選び、朗読するという手法で、「斬新な継承方法だな」と実感しました。

卒業生らも含めた合唱も披露され、さらに全員合唱で会場は一体感に包まれました。県立芦屋高校書道部の書道パフォーマンスも、印象深いものでした。中学生や高校生が、こんなにも真剣に、平和の取り組みを進めており、負けないよう頑張らねば、と強く思いました。

また、ロビーでの故寺尾知文さんの原爆切り絵展も、大きな相乗効果をもたらしました。

（東灘区住吉宮町在住）

催し案内

宝塚九条の会 12周年記念集会

日時＝9月24日(日) 13:30～

場所＝宝塚市立西公民館ホール

第1部＝文化行事

第2部＝記念講演「九条を壊すな～安倍改憲のねらい」

（講師＝小森陽一・東京大学教授、九条の会事務局長）

第3部＝総会

参加費＝無料

主催＝宝塚九条の会

連絡先＝☎0797(73)5276（岩井さん）

市民が変える政治とくらし

中野晃一講演会

日時：9月30日(土) 14:00～

場所：兵庫県民会館けんみんホール

講師：中野晃一上智大学教授

資料代：前売券500円

当日券700円

主催：市民が変える政治とくらし

中野晃一講演会実行委員会

連絡先：090-3652-8652（高橋さん）

カンパの郵便振替口座

口座記号 00900-6

番号 0217129

名義 九条の会. ひがしなだ



★感激の原水禁世界大会を経て、アベ退陣の声は、さらに強まっています。日本だけでなく、世界の声を聞かないのですから。（T）

★今年は戦後72年をむかえました。この夏放映されたNHKスペシャル「731部隊の真実」。「戦慄の記録インパール」は見応えがありました。あの戦争がもたらしたものがどんなものであったか、その事実を知り、広く知らせることが今必要だと思いました。

（N生）